

**各構成機関の令和 2 年度の取組の実施状況及び  
令和 3 年度の取組等について**



## 【広島市自主防災連合会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災マップの作成等を通じてまちあるきを行い、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちあるきや防災マップの作成に関し、多くの住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災マップの作成等を通じてまちあるきを行い、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時における地域の連絡網には、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる連絡網の作成を促進する。</li> <li>○ 広島市防災情報メールや避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する</li> <li>○ 防災受信機の利用促進</li> <li>○ 防災ライブカメラ設置の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災訓練時に防災情報メールによる訓練開始の伝達を行い、受信できているか確認した。</li> <li>○ 回覧等により、避難誘導アプリなどの情報入手手段の確保について周知した。</li> <li>○ 危険区域に居住する住民に対し、広島市の防災受信機の利用促進制度について普及した。</li> <li>○ 広島市の防災ライブカメラの設置制度について、住民へ周知し、設置を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時における地域の連絡網には、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる連絡網の作成を促進する。[継続]</li> <li>○ 広島市防災情報メールや避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する。[継続]</li> <li>○ 防災受信機の利用促進 [継続]</li> <li>○ 防災ライブカメラ設置の検討 [継続]</li> </ul>
行動する 学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災マップの作成等による災害危険箇所等の確認</li> <li>○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会の開催</li> <li>○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施</li> <li>○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施（※コロナにより中止）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち歩きや防災マップの作成に関し、多くの住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認した。</li> <li>○ 市内各地で小学校区単位の連合組織がそれぞれ防災訓練や研修会などを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災マップの作成等による災害危険箇所等の確認 [継続]</li> <li>○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会の開催 [継続]</li> <li>○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施 [継続]</li> <li>○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施 [継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等））を確保</li> <li>○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちあるきや防災マップの作成に関し、多くの住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認した。</li> <li>○ 防災訓練や研修の際、非常持ち出し袋や家庭内備蓄の必要性について、リストや見本を活用して周知した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等））を確保 [継続]</li> <li>○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知 [継続]</li> </ul>

## 【広島県消防協会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知  る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認</li> <li>○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認</li> <li>○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認 [継続]</li> <li>○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認 [継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築 [継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施 [継続]</li> </ul>
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど）</li> <li>○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施</li> <li>○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど）[継続]</li> <li>○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介 [継続]</li> </ul>
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築 [継続]</li> </ul>

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため消防団活動はあまりできていない。

## 【広島県女性防火クラブ連絡協議会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知 　　る	○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認 （地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ）	○ 特になし	○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ）〔継続〕
察知する	○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施	○ 特になし	○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施〔継続〕
行動する	○ 地域住民とのつながりを深めるため、地域で開催される防災訓練等への積極的な参加  ○ 日頃から、日常会話の中で、防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施  ○ 他県との交流を行い、防災設備の見学等を実施	○ 特になし	○ 地域住民とのつながりを深めるため、地域で開催される防災訓練等への積極的な参加〔継続〕  ○ 日頃から、日常会話の中で、防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施〔継続〕  ○ 他県との交流を行い、防災設備の見学等を実施〔継続〕
学 　　ぶ	○ 自主防災組織、消防団等と連携し、防災訓練等に積極的に参加	○ 特になし	○ 自主防災組織、消防団等と連携し、防災訓練等に積極的に参加〔継続〕
備 　　え る	○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す）	○ 特になし	○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す）〔継続〕

## 【広島県社会福祉協議会】

行動目標	取組内容	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域における防災・減災活動の推進支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、7月豪雨災害を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町社協等が構築している被災者生活サポートボランティアネットワーク等を通して、平成30年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえた平常時からの住民・関係機関・団体同士の支援体制づくりを支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域における防災・減災活動の推進支援〔継続〕               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、7月豪雨災害を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。</li> </ul> </li> </ul>
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理</li> <li>○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化</li> <li>○ 災害時における福祉分野の相互支援体制等の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出水期に迅速な資機材の供給を行うため、資機材の点検・整備を行い、県内外における災害時のボランティア活動に対する資機材供給体制の維持に努めた。</li> <li>○ 広島県及び関係機関・団体を構成員とした県被災者サポートボランティアネットワーク推進会議を開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえた方策協議を行った。</li> <li>○ ライオンズクラブ国際協会336-C地区及びサイボウズ株式会社との災害支援協定を締結し、県域ネットワーク拡充を図った。</li> <li>○ 災害時の県内社会福祉施設の相互支援を目的としたネットワークである「広島さっそくネット」において、各エリアによる情報共有や発災時のシュミレーション訓練等を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理〔継続〕</li> <li>○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化〔継続〕</li> <li>○ 災害時における福祉分野の相互支援体制等の構築〔継続〕</li> </ul>

【広島大学】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内で作成する「安全衛生マニュアル」及び学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト）のURLを記載</li> <li>○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介</li> <li>○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内で作成する「安全衛生マニュアル」及び学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト）のURLを記載した。</li> <li>○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布し、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介した。</li> <li>○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内で作成する「安全衛生マニュアル」及び学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト）のURLを記載 [継続]</li> <li>○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 [継続]</li> <li>○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供 [継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災Webの周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災Webの周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災Webの周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進 [継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底 [継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内での防災訓練を継続して実施し、防災体制の確認、自衛消防隊の動きについてシミュレーションを行うとともに、非常用物品の取り扱いなどを周知</li> <li>○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載</li> <li>○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知</li> <li>○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施（年2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載した。</li> <li>○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 [継続]</li> <li>○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 [継続]</li> <li>○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施（年2回） [継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校施設内設備の転倒防止対策の実施及び避難経路の確保の確認に引き続き取り組む</li> </ul>		

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う。</li> <li>○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正</li> <li>○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む</li> <li>○ 防災・減災研究センター関係～引き続き、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発、災害に強いまちづくりの支援、研究成果の情報発信、人材育成等に取り組む。公開講座、研究報告会、国際シンポジウムなどを予定。また、地域の防災に関する実情や課題に精通する行政との連携を図り、実践的な研究成果を行政の施策、事業へ反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行った。</li> <li>○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正した。</li> <li>○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組んだ。</li> <li>○ 防災・減災研究センター関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年6月15日、広島県と県内23市町に加えて、山口県岩国市から危機管理部門の担当者等50人が集まる「令和2年度第1回防災・減災研究センター連携自治体会議」をオンラインで開催し、新型コロナウイルス感染対策を踏まえた避難について意見交換を実施した。</li> <li>・令和2年10月3日、コロナ感染拡大防止のため、初めてオンラインで開催された「ぼうさいこくたい2020」（主催：内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）の中で、「相乗型豪雨災害から命を守るために～次々に襲い掛かる自然の猛威、ネクストステップで何に取り組むのか？」をテーマに独自のセッションを開催し、344人が視聴した。</li> <li>・令和2年11月27日、土石流等の発生予測に向けて「ががら山実証実験プロジェクト」を開始し、広島大学東広島キャンパス内にある「ががら山」山頂付近において、観測孔2本のボーリング作業を開始した。</li> <li>・令和2年12月16日、防災・減災研究センターの設置2周年を記念して、オープンディスカッション「『相乗型豪雨災害』防災のネクストステップで何に取り組む？」を開催。研究者、行政関係者、及び防災リーダー等地域の代表者がウェブ会議形式で討論し、その様子を約70人の一般参加者がオンラインで視聴した。</li> <li>・令和2年10月から、広島県危機管理監、広島県砂防課と、豪雨災害のVR・AR等の可視化教材制作に関する検討を開始した。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う [継続]</li> <li>○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正 [継続]</li> <li>○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む [継続]</li> <li>○ 防災・減災研究センター関係 [継続] <ul style="list-style-type: none"> <li>～引き続き、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発、災害に強いまちづくりの支援、研究成果の情報発信、人材育成等に取り組む。公開講座、研究報告会、国際シンポジウムなどを予定。また、地域の防災に関する実情や課題に精通する行政との連携を図り、実践的な研究成果を行政の施策、事業へ反映させる。</li> </ul> </li> </ul>



【広島県私立中学高等学校協会】

行動目標	取組内容	令和2年度取組の実施状況	令和3年度取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは難しく、個々の法人に意識向上を図るよう要請することしかない。 よって、今後も同様の取組を行う。</li> <li>○ 当協会の主催する会議や行事等の機会において、会員に対して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認等に係る取組を促進するよう意識向上を図る。</li> <li>○ 県の作成する「マイタイムライン」について、各学園（各校）が教職員、生徒、保護者等に周知徹底を図るような取組を行うとともに、その利用方法等も校長会等で検討していくこととしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍によって、年間を通して会議開催ができなかった。よって取組促進の意識向上についての対応はできていない。</li> <li>○ マイタイムラインの配布については、事前に小学校へは協力をお願いした。ただし、利用方法の検討等は会議が未開催のため、対応できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする。〔継続〕</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校長会を通じて、助け合いのネットワークの構築に向けて協議するとともに、各校における現状を把握するとともに意見交換する場を設定することを検討したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議が開催できなかったため、具体的な検討には至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検討に至っていない助け合いネットワークの構築について、再度検討したい。その上で必要性や実効性が確認できるならば、構築に向けて進めていくこととする。〔継続〕</li> </ul>

## 【広島県PTA連合会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	○ 東日本大震災で多くの子供たちの犠牲を出した大川小学校の保護者が各地で防災の講演を行っている。 その方を全小・中学校会長研修会にお呼びし、防災に対する対応やPTAとしての役割等を学習する。	○ コロナウイルス感染拡大の影響で、研修会はオンラインで実施。 「3.11を学びに変える」～必ず来る想定外を生き抜く～と題して、学校や家庭における防災教育の在り方について研修を行った。	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。[継続]
察知する	○ テレビやラジオなどのマスメディア、行政放送、防災メールなど様々なツールを活用し、災害を察知するとともに、子供にもツールの活用方法を指導しておく。	○ 役員会や理事会において、情報ツールなどの活用について意見交換を行った。	○ テレビやラジオなどのマスメディア、行政放送、防災メールなど様々なツールを活用し、災害を察知するとともに、子供にもツールの活用方法を指導しておく。 [継続]
行動する	○ 「てんでんこ」の精神のように、災害が起こったら、誰かからの指示待ちではなく、自分で判断して、自分の身だけは守る姿勢を子供に培う。	○ 災害が起こった時にそれぞれがどう行動するか、行動のルールづくりなどに家庭で取り組んでいく啓発など、家庭での教育や広報紙を使った啓発を行った。	○ 「てんでんこ」の精神のように、災害が起こったら、誰かからの指示待ちではなく、自分で判断して、自分の身だけは守る姿勢を子供に培う。[継続]
学ぶ	○ 防災関係に詳しい方を指導者や講師に招きながら、PTAとしての防災の取組を強化する。	○ コロナウイルス感染拡大の影響で、研修会はオンラインで実施。 「3.11を学びに変える」～必ず来る想定外を生き抜く～と題して、学校や家庭における防災教育の在り方について研修を行った。	○ 広報紙などのツールを使い、防災についての情報を提供する。 [継続]
備える	○ いろいろな災害についての知識や避難方法を親子で共有し、災害が起きた時の対処方法を事前に共有しておく。	○ 広報紙を通じて、災害についての情報提供や保護者の意見などの周知を図った。	○ いろいろな災害についての知識や避難方法を親子で共有し、災害が起きた時の対処方法を事前に共有しておく。[継続]

## 【広島県商工会議所連合会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。	○ 継続して取り組む。	○ 継続して取り組む。

## 【広島県商工会連合会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	○ 引き続き各商工会に、「商工会BCPマニュアル」を策定することを推進する。(令和2年度中の県内全商工会の「事業継続力強化支援計画」認定を目指し、上半期に引き続き計画策定の支援を行っている。)	○ 「事業継続力強化支援計画」未認定の商工会を対象に計画策定支援を行った。(令和2年度中に県内全商工会認定見込み)	○ 県内全商工会の「事業継続力強化支援計画」の実行支援。[新規]
察知する	○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先(ホームページ、メール登録、電話番号等)を纏めて(登録して)おく。	○ 広島県商工会連合会BCPの中に、「災害関連情報入手先」として、ホームページの一覧を追記した。	○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先(ホームページ、メール登録、電話番号等)を纏めて(登録して)おく。[継続]
行動する	○ 業務用SNSでの定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。	○ 業務用SNSでの安否確認訓練を3回実施した。目標回答率100%に対し3回目は96%の結果となった。(3回目は、令和2年11月5日10:00の「広島県一斉地震防災訓練」に合わせて実施)	○ 業務用SNSでの定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。[継続]
学ぶ	○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。 ○ 引き続き、商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。 ○ 全商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。	○ 機会が無く未実施  ○ 未実施  ○ コロナ禍のため研修会は中止となり未実施	○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。[継続]  ○ 引き続き、商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。[継続]  ○ 全商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。[継続]
備える	○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。  ○ 事務所内に水などの備蓄品を置く。	○ 新任の職員に対して「職員携行カード」を配布し説明。  ○ 災害時等帰宅困難者対策として、事務所内に備蓄品設置(3日分の保存水、非常食、簡易トイレ等)	○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。[継続]

【広島県農業協同組合中央会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員組合（13JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する</li> <li>○ 防災に関する情報の収集・共有化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国電力からの依頼受け、JA向け会議において、災害時等の臨時倉庫の借用にかかる協力依頼を実施。</li> <li>○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員組合（13JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。 [継続]</li> <li>○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。 [継続]</li> </ul>
察知する		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報収集・共有を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。[R2下期から継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入居するビルで実施する防災訓練等への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入居するビルで実施する防災訓練等への参加。当年度より、コロナ禍により人数制限があったものの、総務担当部署だけではなく、各部署の代表者に参加いただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加。[継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍により職員研修の時間短縮等を行ったため、実施できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施。[継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災グッズの備置（マスクなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災グッズの備置（マスクなど）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）。[継続]</li> </ul>

## 【広島県宅地建物取引業協会】

行動目標	取組内容	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。</li> <li>○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会【年21回、令和3年1月末日時点16回実施（新型コロナウイルス対策として、内、8回自宅学習）】において、県の担当職員から「自然災害と防災に関する説明義務」と題して、物件取引時の説明内容等について周知を行うとともに、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布を行った。</li> <li>○ 当協会ホームページに「広島県防災WEB」のバナーを継続掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。〔継続〕</li> <li>○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載〔継続〕</li> </ul>
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度も『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建(株)の職員にも、参加を呼び掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和2年11月5日に実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度も『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建(株)の職員にも、参加を呼び掛ける。〔継続〕</li> </ul>
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島市からの依頼により、広島市域を管轄する支部の会員に対し、「町内会・自治会加入促進」のためのチラシを配布し、協力依頼を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。〔継続〕</li> </ul>

【全日本不動産協会広島県本部】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進</li> <li>○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知</li> <li>○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ感染拡大防止対策として行事の大半を自粛したため記事が集まらず、会報誌の発行ができなかった。</li> <li>○ コロナ感染拡大防止対策として集合形式の研修会を実施しなかった。</li> <li>○ 継続して掲載中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進〔継続〕</li> <li>○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知〔継続〕</li> <li>○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載〔継続〕</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知</li> <li>○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 周知する機会がなかった。</li> <li>○ 作成中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知〔継続〕</li> <li>○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成〔継続〕</li> </ul>



【株式会社NTTドコモ中国支社】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所周辺の避難場所・避難経路を確認する。</li> <li>○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をコモンズビューワやリエゾン派遣により情報収集を行う。</li> <li>○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。(各種防災会議等への出席)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度の台風・豪雨災害時にアラートビューア(コモンズビューア)により避難所開設情報を収集実施</li> <li>○ 自治体主催の防災会議、中防連の会議や訓練等への出席による情報収集の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所周辺の避難場所・避難経路を確認する。[継続]</li> <li>○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をアラートビューワやリエゾン派遣により情報収集を行う。[継続]</li> <li>○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。(各種防災会議等への出席) [継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国管内全ドコモショップでの防災ハンドブック配布施策の実施による緊急速報メール、災害用伝言板等の認知度向上を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。[継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。</li> <li>○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関、報道等)説明会を実施する。</li> <li>○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台風接近時・豪雨時に社内災害対策体制を構築し、各組織の災害対策メンバーとの連絡体制を構築</li> <li>○ 社外向け説明会の実施(新型コロナウイルスの影響に伴い、リモート型で実施)</li> <li>○ 防災週間に合わせて、ドコモ防災ハンドブック配布施策(約4万部)を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。[継続]</li> <li>○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関、報道等)説明会を実施する。[継続]</li> <li>○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。[継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。</li> <li>○ 全従業員対象の災害対策に関するWeb研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全社員を対象とした安否確認訓練を実施</li> <li>○ 全社員を対象とし、社員一人一人の自助力向上を目的としたweb研修を毎月実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。[継続]</li> <li>○ 全従業員対象の災害対策に関するWeb研修を実施する。[継続]</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国支社グループ社員に対し防災士資格の取得を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災士取得拡大に向けた研修を開催予定(3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国支社グループ社員に対し防災士資格の取得を推進する。 [継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。</li> <li>○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との訓練を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時の相互協力事項等を記載した自治体様向けのパンフレットを作成し、各自治体様へ配布を実施</li> <li>○ 災害時に連携する防災関係機関様と協定に基づいた訓練を実施し、協定実施手順等を確認実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。[継続]</li> <li>○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との訓練を実施する。[継続]</li> </ul>



【KDDI 株式会社中国総支社】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地区の防災情報を広く入手できるように、「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」の、社員向け HP へのリンクの張り付け</li> <li>○ 地域のBCPマニュアルの更新・開示継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続中（大雨・台風の際に利用）</li> <li>○ 継続中（都度更新の上利用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地区の防災情報を広く入手できるように、「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」の、社員向け HP へのリンクの張り付け〔継続〕</li> <li>○ 地域のBCPマニュアルの更新・開示継続〔継続〕</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施</li> <li>○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施（上半期1回、下半期1回）</li> <li>○ 「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」からの、各自治体HPの情報を収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続中（毎月1日実施）</li> <li>○ 継続中（2/18実施）</li> <li>○ 継続中（大雨・台風の際に利用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施〔継続〕</li> <li>○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施（上半期1回、下半期1回）〔継続〕</li> <li>○ 「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」からの、各自治体HPの情報を収集〔継続〕</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施</li> <li>○ 自治体の総合防災訓練に参加当社の防災への取組や被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。</li> <li>○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続中</li> <li>○ 継続中</li> <li>○ 継続中（7/17・31 佐方市民センター実施、下期実施なし）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施〔継続〕</li> <li>○ 自治体の総合防災訓練に参加当社の防災への取組や被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。〔継続〕</li> <li>○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。〔継続〕</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に提供し、お客様に体験いただく。</li> <li>○ 社員はEラーニングにより災害対策マップの活用方法を学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続中</li> <li>○ 継続中 2月：避難所対応訓練実施（7回開催、27名参加）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に提供し、お客様に体験いただく。〔継続〕</li> <li>○ 社員はEラーニングにより災害対策マップの活用方法を学習〔継続〕</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。</li> <li>○ 各県の総合防災訓練に参加</li> <li>○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施</li> <li>○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために装備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。</li> <li>○ ビル管理会社と連携した避難訓練を実施</li> <li>○ 災害掲示板（社内用）を充実させ、各本部の災害対応などの情報一元化を実施</li> <li>○ 災害マップ（社内用）を構築。被災地の地図上に、社員が入手した現地情報を入力することで、よりリアルな独自のハザードマップ作成を可能なものとした。 ・各地で災害発生により運用実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続中</li> <li>○ 継続中</li> <li>○ 継続中（12/14 陸上自衛隊第十三旅団 共同訓練参加（総通局・通信4社参加））</li> <li>○ 継続中 各種通信機器のバッテリー確認を実施</li> <li>○ 継続中</li> <li>○ 継続中 災害掲示板（社内用）の運用方法の変更を検討</li> <li>○ 継続中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。[継続]</li> <li>○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続]</li> <li>○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続]</li> <li>○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために装備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。[継続]</li> <li>○ ビル管理会社と連携した避難訓練を実施 [継続]</li> <li>○ 災害掲示板（社内用）を充実させ、各本部の災害対応などの情報一元化を実施 [継続]</li> <li>○ 災害マップ（社内用）を構築。被災地の地図上に、社員が入手した現地情報を入力することで、よりリアルな独自のハザードマップ作成を可能なものとした。[継続] ・各地で災害発生により運用実施 [継続]</li> </ul>

【ソフトバンク株式会社】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認，および社員が保持する業務用携帯電話への保存，事前確認の推進（全社通達）</li> <li>○ 各拠点の火災発生時フロー，急病人発生時フロー，避難経路図，備蓄品情報を集約掲載した，社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の運営継続</li> <li>○ 大規模災害，テロ，パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの運営継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認，および社員が保持する業務用携帯電話への保存，事前確認の推進（全社通達）</li> <li>○ 各拠点の火災発生時フロー，急病人発生時フロー，避難経路図，備蓄品情報を集約掲載した，社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の運営継続</li> <li>○ 大規模災害，テロ，パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの運営継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認，および社員が保持する業務用携帯電話への保存，事前確認の推進（全社通達）〔継続〕</li> <li>○ 各拠点の火災発生時フロー，急病人発生時フロー，避難経路図，備蓄品情報を集約掲載した，社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の運営継続〔継続〕</li> <li>○ 大規模災害，テロ，パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの運営継続〔継続〕</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し，携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進</li> <li>○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に，災害伝言板／音声お届けサービス，緊急速報メールの説明を掲載し，携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進</li> <li>○ 自社ホームページに災害伝言板／音声お届けサービス，緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して，登録を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し，携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進</li> <li>○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に，災害伝言板／音声お届けサービス，緊急速報メールの説明を掲載し，携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進</li> <li>○ 自社ホームページに災害伝言板／音声お届けサービス，緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して，登録を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し，携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進〔継続〕</li> <li>○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に，災害伝言板／音声お届けサービス，緊急速報メールの説明を掲載し，携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進〔継続〕</li> <li>○ 自社ホームページに災害伝言板／音声お届けサービス，緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知〔継続〕</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して，登録を促進〔継続〕</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認，および社員が保持する業務用携帯電話への保存，事前確認の推進（全社通達）</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して，登録を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認，および社員が保持する業務用携帯電話への保存，事前確認の推進（全社通達）</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して，登録を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認，および社員が保持する業務用携帯電話への保存，事前確認の推進（全社通達）〔継続〕</li> <li>○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して，登録を促進〔継続〕</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験</li> <li>○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達）</li> <li>○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知</li> <li>○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知</li> <li>○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験</li> <li>○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達）</li> <li>○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知</li> <li>○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知</li> <li>○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験〔継続〕</li> <li>○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達）〔継続〕</li> <li>○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知〔継続〕</li> <li>○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知〔継続〕</li> <li>○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知〔継続〕</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保</li> <li>○ 各事業者の防火・防災体制の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保</li> <li>○ 各事業者の防火・防災体制の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保〔継続〕</li> <li>○ 各事業者の防火・防災体制の把握〔継続〕</li> </ul>

## 【広島県バス協会】

行動目標	取組内容	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施</li> <li>○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示（ポスター等の提供があれば）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バスの車内に広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動行動計画（第2期）に関する啓発ポスターを掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施〔継続〕</li> <li>○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示（ポスター等の提供があれば）〔継続〕</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災情報メール、広島県防災Webなどで情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう、会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災情報メール、広島県防災Webなどで情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう、会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災Webなどで情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。〔継続〕</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県防災Webなどの情報を会員に対し周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県防災Webなどの情報を会員に対し周知した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、広島県防災Webなどの情報を会員に対し周知する。〔継続〕</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供（2020.9.13予定）</li> <li>○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひろしまバスまつりはコロナの感染拡大を考慮し中止した。</li> <li>○ BCP策定講座を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供（実施日未定）〔継続〕</li> <li>○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。〔継続〕 （備考） 防災教室などWEBでの実施もお願いしたい。</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貸切バス事業者に対しても、広島県防災Webなどで運行経路にある避難場所を事前に確認するよう促す。</li> <li>○ 県からの依頼による、防災フェアの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貸切バス事業者に対しても、広島県防災Webなどで運行経路にある避難場所を事前に確認するよう促した。</li> <li>○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの周知をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。〔新規〕</li> <li>○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。〔新規〕</li> <li>○ 会員に対し、BCPの策定を促す。〔新規〕</li> </ul>

## 【広島県医師会】

行動目標	取組内容	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハザードマップやポスター等の医療機関の待合室等への指示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各医療機関において、可能な範囲でハザードマップやポスター等の掲示をお願いしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハザードマップやポスター等の医療機関の待合室等への掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施〔継続〕</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 必要に応じて、「広島県医師会速報」内で定期的に防災意識・手順・サービス等の啓発を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発〔継続〕</li> </ul>



行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
行動する	○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方策を共有する。	○ 危機管理フォーラム 2020 : 8/22/参加 ○ 防災推進国民大会 2020 : /10/3 パネリスト参加	○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方策を共有する[継続]
学ぶ		○ 防災訓練(災害時情報通信訓練)南海トラフ大震災想定訓練 : 2/10 参加 ○ 日本医師会 JMAT 研修参加 ○ NBCR 対策推進機構主催各種講習会参加	
備える		○ 太田川水防災タイムライン検討会に参画 ○ 小瀬川水防災タイムライン検討会に参画	○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージにおける災害対応を迅速に進めるため情報を共有する [新規]

### 【広島県歯科医師会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利用して、研修や会議等の際に、“広島県防災 Web”により災害時への準備や対応について啓発を図る。	○ コロナ禍により限られた回数となったが、研修や会議等で「会員のためのハンドブック」を利用して啓発活動を行った。	○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利用して、研修や会議等の際に、“広島県防災 Web”により災害時への準備や対応について啓発を図る。[継続]
察知する	○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際、会員の安否確認をスマホやパソコンからも簡単に回答ができるよう「グーグルフォーム」を現在メーリングシステムに代わるものとして検討していく。	○ インフラに問題がないことを確認した上で、セキュリティ対策のため「Googleフォーム」から「formzu」に変更し、安否確認等を行うこととした。	○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際、会員の安否確認をスマホやパソコンからも簡単に回答ができるよう「グーグル フォーム」を現在メーリングシステムに代わるものとして検討していく。[継続]
行動する	○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に利活用していけるよう、会員の研修を計画的に実施していく。	○ 郡市地区歯科医師会との連携については、コロナの影響で具体的な実績なし。 ○ 1月30日(土)に開催された「令和2年度災害歯科保健医療体制研修会(オンライン開催)」に参加した。	○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。[継続] ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に利活用していけるよう、会員の研修を計画的に実施していく。[継続]
	○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していくことを検討中。	○ 「行動する」「学ぶ」記載の会員・他団体への伝達講習会はコロナ禍により延期し、令和3年度の事業で開催することになった。	○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していくことを検討中。[継続]
備える	○ 備蓄の消費期限等考慮し、継続的に見直しをしていく。 ○ 安否確認システムの構築。 ※「察知する」取り組み内容。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県(広島県を除く)との災害対応訓練の実施を検討していく。	○ コロナ対策関連のマスク等と合わせて備蓄状況の随時把握を行った。 ○ 安否確認システムは上記「察知する」のとおり。 ○ コロナ禍もあり、中国・四国地区8県の県歯会災害訓練は実施できず。	○ 備蓄の消費期限等考慮し、継続的に見直しをしていく。[継続] ○ 安否確認システムの構築。※「察知する」取り組み内容。[継続] ○ 協定を交わした中国・四国地区8県(広島県を除く)との災害対応訓練の実施を検討していく。[継続]

【日本放送協会広島放送局】

行動目標	取組内容	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節目をとらえて西日本豪雨災害の教訓をくみとる報道を続ける。</li> <li>○ 新たな豪雨、台風、地震などの災害には臨時特設のニュースで身を守ってもらうための情報提供に取り組む。</li> <li>○ 訪日外国人の増加を踏まえ、L字放送などで外国人向け放送への誘導を実施する。</li> </ul>	いずれも実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節目をとらえて西日本豪雨災害の教訓をくみとる報道を続ける。[継続]</li> <li>○ 新たな豪雨、台風、地震などの災害には臨時特設のニュースで身を守ってもらうための情報提供に取り組む。[継続]</li> <li>○ 訪日外国人の増加を踏まえ、L字放送などで外国人向け放送への誘導を実施する。[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努め、視聴者、県民のみなさんの災害察知力に貢献する。</li> <li>○ 避難を呼びかける「避難特設ニュース」※をさらに進化させる取組。 ※ 行政機関のHPを活用した記者解説やデータ放送、インターネット、アプリなどを通じて視聴者にご自分で周囲の様子を調べてもらう試み。</li> <li>○ Lアラート由来の避難情報を、対象自治体世帯のテレビに自動表示するシステムの導入</li> </ul>	いずれも実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努め、視聴者、県民のみなさんの災害察知力に貢献する。[継続]</li> <li>○ 避難を呼びかける「避難特設ニュース」※をさらに進化させる取組。[継続] ※ 行政機関のHPを活用した記者解説やデータ放送、インターネット、アプリなどを通じて視聴者にご自分で周囲の様子を調べてもらう試み。</li> <li>○ Lアラート由来の避難情報を、対象自治体世帯のテレビに自動表示するシステムの導入。[継続]</li> </ul>
学ぶ・備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西日本豪雨災害報道の教訓を共有する取り組みを実施。</li> <li>○ ライフライン放送やL字放送の訓練を実施。</li> <li>○ 定期的に地震に備えた訓練を行う。</li> <li>○ 職員やスタッフの即応力をより高めるためスマホを活用した中継を定時ニュースでコーナーに。</li> <li>○ 広島放送局のホームページに「くらしと安全」を常時開設、防災・減災に役立つ知識や情報を提供。</li> <li>○ 中国地方整備局太田川河川事務所の水防訓練において放送対応の確認</li> <li>○ 前年度実施の「水害シミュレーション」の結果を元に、水害罹災時の放送継続に向けたフローを整理し、必要に応じて対策を講じる。</li> </ul>	いずれも実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西日本豪雨災害報道の教訓を共有する取り組みを実施。</li> <li>○ ライフライン放送やL字放送の訓練を実施。[継続]</li> <li>○ 定期的に地震に備えた訓練を行う。[継続]</li> <li>○ 広島放送局のホームページに「くらしと安全」を常時開設、防災・減災に役立つ知識や情報を提供。[継続]</li> <li>○ 中国地方整備局太田川河川事務所の水防訓練において放送対応の確認 [継続]</li> <li>○ 前年度実施の「水害シミュレーション」の結果を元に、水害罹災時の放送継続に向けたフローを整理し、必要に応じて対策を講じる。[継続]</li> </ul>

【株式会社中国放送】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
<p>知 る 察知する 行動する 学 ぶ 備える</p>	<p>○ 災害報道・防災情報に力を入れ、スタッフ研修・番組制作などに継続して取り組む。</p> <p>〔報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する。〕</p>	<p>○ 西日本豪雨等に関連した継続的な防災報道に加え、大雨時など特別枠を設け、情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月6～8日、豪雨特枠×11回、およびL字情報など。砂防ダム(西区)で土石流確認をTwitter などでも速報。九州豪雨に取材班を送り、広島でもリポートを放送。</li> <li>・ 7月14・15日、江の川氾濫(島根)、東広島市で家屋倒壊など速報。避難情報巡る検証報道も。</li> <li>・ 9月6・7日、台風10号接近に伴い、特枠等×6回と30分特番。</li> <li>・ 1月7・8日・12日、2月18日、寒波に伴い、特枠(一部、L字情報)。</li> <li>・ 防災・減災企画等の制作・放送。新型コロナと避難所、6・29土砂災害、西日本豪雨、8・20土砂災害、三次47水害、枕崎台風と宮島の重要文化財砂防施設、各種防災施設の整備状況など。</li> </ul> <p>○ 気象予報士の拡充⇒独自気象予報の認可により気象情報全般の発信力強化。局内にウェザーセンターを設置・運用。</p> <p>○ ラジオとの連携。</p> <p>○ JNN系列を挙げての災害対応策にかかる継続的協議、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災担当者間の日常的な意見交換、会議の実施。各種研修等への参加。</li> </ul> <p>○ 自社での地震報道訓練等の実施。</p> <p>○ 関係機関と連携した防災催し・勉強会 ・ 気象予報士を中心に積極的に参加。</p>	<p>○ 災害報道・防災情報に力を入れ、スタッフ研修・番組制作などに継続して取り組む。〔継続〕</p> <p>〔報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する。〕</p>



【株式会社テレビ新広島】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供</li> <li>○ 行政機関や広大等研究機関が取り組む、豪雨災害時の避難行動の在り方の検証について、広く周知できるよう対応（「満点ママ」の月1防災企画などでしっかり情報提供する。）</li> <li>○ 災害の危険度を5段階に分けた危険度情報について番組内で解説し、早めの避難行動を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅周辺の危険箇所のチェック方法</li> <li>・コロナの状況を考え、避難先の選択肢を増やす（分散避難）</li> <li>・避難経路の考え方・避難先へ行くまでの時間の確認</li> <li>・警戒レベル5段階の確認</li> <li>・災害時の連絡</li> <li>・注意報の見方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供[継続]</li> <li>○ 行政機関や広大等研究機関が取り組む、豪雨災害時の避難行動の在り方の検証について、広く周知できるよう対応（「満点ママ」の月1防災企画などでしっかり情報提供する。）[継続]</li> <li>○ 災害の危険度を5段階に分けた危険度情報について番組内で解説し、早めの避難行動を促す[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知</li> <li>○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知</li> <li>○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供</li> <li>○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達</li> <li>○ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法などを啓発</li> <li>○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ避難を開始するか（そのために何をみてどう判断したらいいか）その考え方について</li> <li>・県防災 Web や携帯の防災アプリの活用</li> <li>・警戒レベルの確認、気象情報で今の状況を詳しく伝えることで、避難行動を呼びかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知[継続]</li> <li>○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知[継続]</li> <li>○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供[継続]</li> <li>○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達[継続]</li> <li>○ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法などを啓発[継続]</li> <li>○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供[継続]</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化</li> <li>○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難のタイミング、分散避難（ひろしまタイムラインや満点ママオリジナル災害避難カードなどを活用しよう）</li> <li>・非常用グッズを使ってみよう</li> <li>・減災のために私たちが普段できる取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化[継続]</li> <li>○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発[継続]</li> </ul>
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証</li> <li>○ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供</li> <li>○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろしまタイムラインの作り方</li> <li>・避難のタイミングを見るためにどう気象情報を活用していけばいいか</li> <li>・台風について（台風の対策を考える上で、まずは台風そのものを学ぶ）</li> <li>・防災ゲームで子供達にも楽しく防災を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証[継続]</li> <li>○ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供[継続]</li> <li>○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供[継続]</li> <li>○ 気象台や中国地方整備局、各メディアによる勉強会に参加し、避難誘引に繋がる「伝え方」を検討する[継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供</li> <li>○ 災害発生の危険性が高まる梅雨や台風シーズンは、テレビ番組で注意喚起</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組などで再度取り上げ注意喚起。 気象台や中国地方整備局、各メディアによる勉強会を開催し、どう伝えることで危険度が高まった際に避難誘引できるか検討していきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨入り前の備え（非常用袋だけでなく、家の周りや家の中の対策もしておこう）</li> <li>・非常用持ち出し袋の見直し（感染予防のためのグッズは何を揃えたらいいか）</li> <li>・非常食</li> <li>・大雪の備え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供[継続]</li> <li>○ 災害発生の危険性が高まる梅雨や台風シーズンは、テレビ番組で注意喚起[継続]</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組などで再度取り上げ注意喚起[継続]</li> </ul>

## 【広島テレビ放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。</li> <li>○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起</li> <li>○ 津波の日、減災HPなどの紹介</li> <li>○ 「みんなで減災推進大使」の認知度の向上に取り組む</li> </ul> <p>H29.4から「みんなで減災推進大使」に就任している気象予報士 塚原美緒さんにより、総ぐるみ運動や、防災HPなどの紹介を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。[継続]</li> <li>○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起[継続]</li> <li>○ 津波の日、減災HPなどの紹介</li> <li>○ 「みんなで減災推進大使」の認知度の向上に取り組む[継続]</li> <li>○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週1で展開。県民の防災意識を高める。[新規]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨や大雪などで警報及び避難勧告が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達</li> <li>○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達</li> <li>○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広テレアプリ」により、プッシュ通知で速報を伝えられるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨や大雪などで警報及び避難勧告が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達[継続]</li> <li>○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達[継続]</li> <li>○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載[継続]</li> <li>○ 広テレアプリにより、スマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供。[継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 左記の取り組みを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけ。[継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 塚原気象予報士の取材で、早めの避難やコロナ禍の避難所の注意などを天気予報以外のコーナーで伝えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。[継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 左記の取り組みを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。[継続]</li> </ul>

## 【株式会社広島ホームテレビ】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発</li> <li>○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送 必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める</li> <li>○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夕方の「5up!」を中心に、防災をテーマにした特集や企画を複数回放送した。</li> <li>○ ニュース番組内でWEB活用を啓発</li> <li>○ 7月の豪雨や9月の台風10号など警戒が必要なタイミングで随時L字放送を実施し、警戒や避難を呼びかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発[継続]</li> <li>○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める[継続]</li> <li>○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかけた。[継続]</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載</li> <li>○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設 (「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。)</li> <li>○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自社HPの「広島防災」ページについて、災害への備えや、防災関連の自社記事を確認できるようにさらに充実させた。HP上にL字の情報を流すなど新たな手法も導入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載[継続]</li> <li>○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設 (「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。)[継続]</li> <li>○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS(ツイッター、フェイスブック)の自社アカウントから情報を発信</li> <li>○ 警報など随時ニュース速報で対応</li> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特に7月に多かった土砂災害警戒情報や警報、避難勧告などの発表時、自社ホームページやSNS(ツイッター、フェイスブック)の自社アカウントから情報を発信した。</li> <li>○ 土砂災害警戒情報や警報などが出たときは、随時ニュース速報やL字放送で対応した。</li> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS(ツイッター、フェイスブック)の自社アカウントから情報を発信[継続]</li> <li>○ 警報など随時ニュース速報で対応[継続]</li> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載[継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促すことを含めて、L字放送などで早めの避難を呼びかけた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける[継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介</li> <li>○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介した。</li> <li>○ 豪雨災害2年の時期にあわせて、石原良純氏を起用したローカル特別番組「石原良純のみんなの防災教室」(60分番組)を制作。コロナの状況の中での避難の在り方など、に防災について考えてもらうきっかけを作った。</li> <li>○ 7月6日のローカル特番はネット配信し、見逃した方にも視聴できるようにしている。</li> <li>○ 12月には2014年広島市土砂災害の被災者取材したドキュメント広島「伝えたいこと」(30分番組)を制作し放送した。</li> <li>○ 自社制作の防災関連ドキュメンタリー番組が出前講座や防災国体などで活用された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介[継続]</li> <li>○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう[継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害に備える特集・ニュースを放送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台風接近といった必要時には災害に備える特集・ニュースを放送した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害に備える特集・ニュースを放送[継続]</li> </ul>

【株式会社中国新聞社】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和2年9月15日に新聞社内で実施。広島大の教官を講師に、同教官が開発した西日本豪雨を再現したVRソフトを活用し、適切な非難行動について学んだ。社員やスタッフ約50人が参加。密を避けるため、ライブ配信もした。関連会社にはDVDを配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施</li> <li>○ 「ちゅーピーメルマガ」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などの災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し素早い避難を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施[継続]</li> <li>○ 「ちゅーピーメルマガ」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などの災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し素早い避難を促す。[継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今回の西日本豪雨災害報道では、これまでの災害も踏まえ、「どう命や地域を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 随時、新聞紙面で報道。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今回の西日本豪雨災害報道では、これまでの災害も踏まえ、「どう命や地域を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている[継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたいと考えている。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西日本豪雨から2年となった令和2年7月6日前後の朝刊で、復興状況や課題を探る連載や特集を展開し、あらためて啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたいと考えている。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。[継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。[継続]</li> </ul>



【広島エフエム放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知（1か月に1回程度出演）</li> <li>○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知</li> <li>○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 左記の取組を実施した。</li> <li>○ 今年度はイベントが行われず、推進大使としてのイベントに参加できなかった。</li> <li>○ 番組内で、一斉地震防災訓練実施前後で周知を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知（1か月に1回程度出演）[継続]</li> <li>○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知[継続]</li> <li>○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知</li> <li>○ 避難情報が発表された際には、コンパクトに正しく伝える工夫を検討</li> <li>○ 番組内での「防災情報メール」登録の呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生放送で、日本気象協会の担当者に臨時で電話をつなぎ、気象情報を詳しく伝えたほか、土曜日、日曜日の全国ネットのニュース枠を、ローカルニュースに差し替えたり、深夜帯には緊急割込み放送を行ったりして、自社でニュースを放送した。</li> <li>○ 避難情報は、警戒レベルと合わせて市町名のみで放送した。</li> <li>○ 防災情報メールの呼びかけは、『みんなで減災』推進大使出演時に行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知[継続]</li> <li>○ 避難情報が発表された際には、コンパクトに正しく伝える工夫を検討[継続]</li> <li>○ 番組内での「防災情報メール」登録の呼びかけ[継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」に従業員が参加。その後、机の下に身を守るスペースの確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策もあり、一斉訓練は実施できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」に従業員が参加。その後、机の下に身を守るスペースの確保[継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有識者との情報交換を定期的実施</li> <li>○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知（「防災ワークショップ」の実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ひろしま防災ドリル」発行に合わせて、担当者を行った。</li> <li>○ 防災ワークショップ等は実施できなかった。</li> <li>○ 「ひろしま防災ドリル2020」として7月に7万部を県内で無料配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有識者との情報交換を定期的実施[継続]</li> <li>○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知（「防災ワークショップ」の実施）[継続]</li> <li>○ HFM 防災ハンドブック2021の制作、配布[継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知</li> <li>○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起（7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「備えるフェア」の周知を行った。</li> <li>○ 自社制作の生放送各番組で行った。</li> <li>○ 7月1週目や、3月11日前後には特集企画を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知[継続]</li> <li>○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起[継続]</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起（7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定）[継続]</li> </ul>

【広島地方気象台】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨及び洪水警報の危険度分布を、避難判断の参考として活用してもらうため、住民に対する周知広報を行う。</li> <li>○ 大雨特別警報の位置づけ・役割の周知徹底を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気象庁ホームページで周知を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面形式の研修等は中止とし、オンライン形式で地域防災リーダーや防災士向けに研修を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨及び洪水警報の危険度分布を、避難判断の参考として活用してもらうため、住民に対する周知広報を行う。[継続]</li> <li>○ 大雨特別警報の位置づけ・役割の周知徹底を行う。[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。</li> <li>○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 報道機関等が参加する防災気象連絡会で、防災気象情報の周知広報を行った。</li> <li>○ FMはつかいちに電話出演し、気象・地震等について解説した。また、地域防災リーダーや防災士対象の研修をオンライン形式で実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続]</li> <li>○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。</li> <li>○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨警報等が発表されるときは、県・市町に対してホットラインによる事前連絡を行った。また、平時においても、県に対して朝夕に気象解説を行い、県から市町へ情報を共有してもらうなど連携をとっている。</li> <li>○ 南海トラフ地震を想定して訓練を実施し、職員の安否確認や機器障害時等の対応確認を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。[継続]</li> <li>○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。[継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国交省（芦田川減災対策協議会）が推進する取組の一つである、防災教育として防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」による授業を福山市の光小学校で行った。 また、eラーニング「経験したことのない大雨、その時どうする？」を気象庁ホームページで公開し、利活用を促した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を図る。[継続]</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。</li> <li>○ 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」について、関係機関と連携して実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気象防災ワークショップ、気象庁ワークショップは新型コロナ感染拡大防止の観点から開催できなかったが、オンライン形式で市町の防災担当者向けに勉強会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。[継続]</li> <li>○ 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」について、関係機関と連携して実施する。[継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域防災支援の取組の強化を行う。</li> <li>○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。</li> <li>○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取り組みを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 台風や大雨事例について、県・市町の防災担当者と振り返りを行い、気象状況に応じて段階的に発表する防災気象情報から気象台が持つ危機感がわかること等の説明を行った。</li> <li>○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化の取組として、台風接近時には県庁へ職員を派遣し、防災気象情報の解説等を行い、県・市町の防災活動を支援した。</li> <li>○ 「あなたの町の予報官」の取組について市町への説明を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域防災支援の取組の強化を行う。[継続]</li> <li>○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。[継続]</li> <li>○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取り組みを実施する。[継続]</li> </ul>



【中国地方整備局】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等（広島市を中心に展開予定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・太田川総合水防演習を R2. 5. 30 に広島市安佐南区川内地先で開催予定。</li> <li>・土砂災害防止県民の集い（尾道市）R2. 6. 1 に参加予定</li> <li>・ぼうさいこくたい2020@HIROSHIMA に参加予定</li> </ul> </li> <li>○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における防災関連ポータルサイトの提供（関係 52 機関と情報共有）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、太田川総合水防演習、土砂災害防止県民の集いを含め、防災イベント等の開催や参加は見送った。</li> <li>・10月3日にオンライン開催された「ぼうさいこくたい2020@HIROSHIMA」のセッションやプレゼンに参加した。</li> <li>・防災関連ポータルサイトは常時提供中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>【全般】 防災体制情報, TEC-FORCE 活動状況</li> <li>【河川】 川の防災情報（洪水予報, 水防警報, ダム放流通知）, 浸水想定区域図, 水文水質データベース, NHK データ放送での配信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水害リスクラインによる一般への水位情報提供</li> </ul> </li> <li>・切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信。</li> <li>・平成 30 年 7 月豪雨で土砂災害により甚大な被災を受けた 9 地区において早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開</li> <li>・情報発信の強化のため、ツイッターの SNS 公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。</li> </ul> </li> <li>【道路】 道路情報提供（交通規制, 道路気象情報）, 事前通行規制区間情報, 冬季道路情報（道路ライブ画像, 通行止め予定区間）</li> <li>【港湾】 ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風 10 号に関する広島地方気象台と地方整備局による合同説明会を 9/4 に開催し、災害のおそれについて呼びかけを実施。また、会見の内容を YouTube で LIVE 配信し情報提供を実施。</li> <li>・TEC-FORCE の活動状況について、7 月の九州地方（福岡県、熊本県）の活動状況を HP に掲載し、情報提供を実施。</li> <li>・広島県内の一級水系直轄区間（太田川、小瀬川、江の川、芦田川）の CCTV カメラの画像（各水系 3 箇所）を、YouTube で LIVE 配信を開始した。中国地方整備局 HP での専用視聴ページは 8 月 31 日から公開。</li> <li>・令和 2 年 7 月豪雨時に弥栄ダムにおいて試行的にツイッターの SNS 公式アカウントを通じて、特別防災操作等の災害情報の提供を実施。</li> <li>・その他の防災情報の提供については継続実施中。</li> <li>・継続実施中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供[継続] <ul style="list-style-type: none"> <li>【全般】 防災体制情報, TEC-FORCE 活動状況</li> <li>【河川】 川の防災情報（洪水予報, 水防警報, ダム放流通知）, 浸水想定区域図, 水文水質データベース, NHK データ放送での配信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水害リスクラインによる一般への水位情報提供</li> <li>・切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信。</li> <li>・平成 30 年 7 月豪雨で土砂災害により甚大な被災を受けた 9 地区において 早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開</li> <li>・情報発信の強化のため、ツイッター等の SNS 公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。</li> <li>・設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>【道路】 道路情報提供（交通規制, 道路気象情報）, 事前通行規制区間情報, 冬季道路情報（道路ライブ画像, 通行止め予定区間）</li> <li>【港湾】 ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施</li> <li>○ 危機管理型水位計による情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進</li> </ul> </li> <li>○ 平成30年7月豪雨で土石流被害を受けた地区において、設置したワイヤーセンサーによる警戒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施中。</li> <li>・継続実施中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施[継続]</li> <li>○ 平成30年7月豪雨で土石流被害を受けた地区において、設置したワイヤーセンサーによる警戒[継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練</li> <li>○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年2月17日に開催した第7回連携訓練専門部会において、各機関が行う災害対応と連携手順を確認するための連携確認会議を実施し、連携体制の強化を図った。</li> <li>・継続実施中であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講習会を延期した。実施時期について検討中。</li> </ul>	
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災教室、防災訓練、防災イベント等（広島市を中心に展開予定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・太田川総合水防演習を R2.5.30 に広島市安佐南区川内地区先で開催予定。</li> <li>・土砂災害防止県民の集い（尾道市）R2.6.1に参加予定</li> <li>・R2.10開催される「ぼうさいこくたい2020@HIROSHIMA」に参加予定</li> </ul> </li> <li>○ 防災・河川環境教育の取組強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場と連携・協力し、防災教育の支援及び河川環境学習の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、太田川総合水防演習、土砂災害防止県民の集いを含め、防災イベント等の開催や参加は見送った。</li> <li>・10月3日にオンライン開催された「ぼうさいこくたい2020@HIROSHIMA」のセッションやプレゼンで参加した。</li> <li>・小学校（広島市立古市小学校（7/15）ほか）を対象として、気象情報や河川情報の入手方法、また河川の特徴や過去の災害、洪水の起こる仕組み、避難行動などについて防災教育を実施。</li> <li>・マイ・タイムラインの普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>流域の小中学校（広島市立深川小学校（10月27日）において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握していただいた。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災教室、防災訓練、防災イベント等（広島市を中心に展開予定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・太田川総合水防演習について、合同による現地開催を取り止め、個別で実施する分散開催とする。[継続]</li> <li>・水防技術講習会を R3.4.24 に広島市で開催予定。</li> </ul> </li> <li>○ 防災教育の取組強化[継続] <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場と連携・協力し、防災教育の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施）</li> </ul> </li> <li>○ マイ・タイムラインの普及[継続] <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。</li> </ul> </li> </ul>

【広島県市長会（広島市）】

行動目標	取組内容	令和2年度取組の実施状況	令和3年度取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島市 HP、市政出前講座、講演会・研修会等により、災害に関する一般知識や平素からの備えについて周知した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。[継続]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難情報の入手方法の周知</li> <li>○ 広島市防災情報メールの登録促進</li> <li>○ 緊急速報メールの活用の周知</li> <li>○ 防災受信機の利用促進</li> <li>○ 防災ライブカメラの設置補助</li> <li>○ 避難誘導アプリの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島市 HP、SNS、市政出前講座、講演会・研修会、デジタルサイネージ及びポスター掲示等により周知し、災害の危険性を察知する手段を確保するための支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難情報の入手方法の周知 [継続]</li> <li>○ 広島市防災情報メールの登録促進 [継続]</li> <li>○ 緊急速報メールの活用の周知 [継続]</li> <li>○ 防災受信機の利用促進 [継続]</li> <li>○ 防災ライブカメラの設置補助 [継続]</li> <li>○ 避難誘導アプリの周知 [継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助</li> <li>○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援</li> <li>○ 避難誘導アプリの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災訓練の実施に係る補助金を交付する制度を設け、自主防災組織が効果的な訓練を実施できるよう支援した。</li> <li>○ 地域の危険性を自ら確認し、災害に備えることのできる「わがまち防災マップ」の作成を支援した。</li> <li>○ 避難誘導アプリの周知のため、公共施設やサービスエリア等へリーフレット等を設置し、市立小学校、中学校、高校の全児童、全生徒へチラシを配布するとともに、バスセンターやシャレオ、JR西日本、アストラムラインの駅にポスターを掲示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 [継続]</li> <li>○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援 [継続]</li> <li>○ 避難誘導アプリの周知 [継続]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災まちづくり事業により、広島市内各地で実施される防災講演会や研修会、体験学習に対する支援を実施（講師謝礼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 [継続]</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催</li> <li>○ 災害を追体験できる取組の推進</li> <li>○ こどもを対象とした防災体験学習の実施</li> <li>○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金、資機材の購入費用、設備の借上げ費用等)</li> <li>○ 「たちまち防災」※を活用した研修を地域防災リーダーが実施した。※たちまち防災配布数～約 20,000 部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 [継続]</li> <li>○ 災害を追体験できる取組の推進 [継続]</li> <li>○ こどもを対象とした防災体験学習の実施 [継続]</li> <li>○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。 [継続]</li> </ul>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災リーダーの養成事業の実施</li> <li>○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度に引き続き、防災士養成講座を実施した（養成数 101 名）</li> <li>※第一回講座実施日（11/28.29）</li> <li>※第二回については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期（R3.5月以降開催予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災リーダーの養成事業の実施 [継続]</li> <li>○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発 [継続]</li> </ul>

【広島県町村会（坂町）】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」を転入者等に配布し啓発を実施</li> <li>○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知</li> <li>○ 令和元年度作成の町内全域土砂災害ハザードマップの配布・広報誌やHPでの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施 [継続]</li> <li>○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 [継続]</li> <li>○ VACAN のシステムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施 [新規]</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知</li> <li>○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 ・消防団における登録者数増強（令和元年度は副分団長以上の登録）</li> <li>○ エリアメールによる、災害情報の周知 （NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）</li> <li>○ 戸別受信機の無償貸与を開始し、避難情報をより確実に伝達。 難聴世帯に対しては個別アンテナの設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 [継続]</li> <li>○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 [継続]</li> <li>○ エリアメールによる、災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル） [継続]</li> <li>○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置 [継続]</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備</li> <li>○ 避難準備・高齢者等避難開始を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設</li> <li>○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備。 ・消防団の主要な連絡手段である移動系無線機についてデジタル更新・配備数の増強を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施した。</li> </ul> <p>左記のほか、自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を行った。（令和2年度は3組織）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 [継続]</li> <li>○ 避難準備・高齢者等避難開始を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 [継続]</li> <li>○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備。 [継続]</li> <li>○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施 [継続]</li> <li>○ 総合防災訓練を実施し、関係機関との連携協力体制を確立するとともに、地域住民の防災意識の高揚を図る [新規]</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災リーダー養成講座開催</li> <li>○ 防災士養成講座受講者の募集</li> <li>○ 自主防災組織養成講座開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織養成講座については、同様の事業（広島県避難の呼びかけ体制づくり支援事業）を実施したため、未実施。</li> </ul> <p>その他は実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災リーダー養成講座開催 [継続]</li> <li>○ 自主防災組織養成講座開催 [継続]</li> <li>○ 地域の自主的な防災講座の支援 [継続]</li> <li>○ 防災士養成講座受講者の募集 [継続]</li> <li>○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる施設を整備し、災害の実態を後世に伝えていく [新規]</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知</li> <li>○ 公共施設において非常持出品の準備を提唱。公共施設において非常持出品の展示し啓発実施</li> <li>○ 町広報誌においても備蓄の呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知〔継続〕</li> <li>○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱〔継続〕</li> <li>○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ〔継続〕</li> </ul>

## 【広島県教育委員会】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。</li> <li>○ 令和2年度学校安全指導者講習会において、ハザードマップ等の最新情報を提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導〔継続〕</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認</li> <li>○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認</li> <li>○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。</li> <li>○ 災害種別の危機管理マニュアルが不備の学校を個別に指導した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認〔継続〕</li> <li>○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認〔継続〕</li> <li>○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し〔継続〕</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施</li> <li>○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認</li> <li>○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災教育を推進するための教職員研修の実施</li> <li>・ 「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介</li> <li>・ 「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進</li> </ul> </li> <li>○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 梅雨期及び台風期に、地域の関係機関と連携を図り、危機管理マニュアルを整備し、防災態勢を強化するよう指導した。</li> <li>○ 令和2年度学校安全指導者講習会において、各校の学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直しをし、防災教育の取組の充実を図るよう指導をした。</li> <li>○ 広島県自然災害に関する防災教育の手引〔別冊〕版に、「ひろしまマイ・タイムライン」の学習指導案を追加掲載した。</li> <li>○ 防災講座用のパンフレットや映像、パネル等が活用できるよう関係リンク先 HP を紹介した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施〔継続〕</li> <li>○ 学校における防災教育の推進〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災教育を推進するための教職員研修の実施</li> <li>・ 「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介</li> <li>・ 「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進</li> </ul> </li> <li>○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供。〔継続〕</li> </ul>



【広島県】

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施</li> <li>・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報の実施</li> <li>・ 防災教室、広報番組、イベント等において、「広島県防災Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一步」などの利用促進</li> <li>・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による呼び掛け</li> <li>・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ</li> </ul> </li> <li>○ 「ぼうさいこくたい2020」への参加（主催：内閣府）</li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</li> <li>○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施（5/11～6/6）                   <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 参加者約60万9千人</li> </ul> </li> <li>・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて、「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。</li> <li>・ 防災教室、広報番組等において、「広島県防災Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一步」などの利用を促進した。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大規模イベントが中止となったため未実施</li> <li>・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による取組の働きかけ（マツダ㈱、広島銀行、東京海上日動保険㈱など）</li> <li>・ 広島県商工会議所や中小企業団体中央会及び県内の中小企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ〔商工労働局と連携〕</li> </ul> </li> <li>○ 「ぼうさいこくたい2020」開催に伴う、広島市と連携した「知る」取組の推進（10/3）《サイトアクセス》               <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー数：57,758名</li> <li>PV数：357,454回</li> </ul> </li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した防災・減災教育の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ひろしまマイ・タイムライン」を制作し、全小学校に配布（7月上旬）</li> <li>・ 自主防災組織等へ配布し、地域の防災教室等で活用</li> <li>・ Web上にデジタル版のマイ・タイムライン作成サイトを構築</li> </ul> </li> <li>○ 広島大学防災・減災研究センターの監修により、VR教材を制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成率の向上に向けて、継続して取り組むとともに、新たに次の取組を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希望する小学校での出前講座の実施</li> <li>・ 低学年向けの教材の配布</li> </ul> </li> <li>○ 出前講座や防災教室等でのVR教材の活用やYoutube配信等による防災意識の機運醸成</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
<p>知 る</p>	<p>○ 中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCPの策定</li> </ul> <p>回数を拡充し、県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制の整備を訴える「BCP策定・BCM活動推進フォーラム・セミナー」の開催、BCPを策定するための「BCP策定講座」の開催及び、BCPの効果検証等を試みる「机上演習」を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像媒体による周知活動</li> </ul> <p>フォーラム・セミナーへの参加誘導としての映像の配信や、BCM活動の推進としての社内教育・研修用教材の提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共助体制の構築</li> </ul> <p>BCPの実効性をさらに高めるために、BCP策定講座等参加事業者間で、共助体制の推進を進めていくための研究や、情報交換を行える場を提供。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに「土砂災害警戒区域等を示した標識」を設置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「呼びかけ避難」のポスターの掲示や、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、指定効果を高める取組を継続。</li> </ul> <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知</p>	<p>○ 中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCPの策定</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大により、延期や参加人数の制限を行う一方で、WEBの非集合型講座に変更すること等による、途切れのない継続的な開催に注力した。 (2月末現在)</p> <p>■フォーラム・セミナー 302人 ■BCP策定講座 146社 ■BCP検証机上演習 57社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像媒体による周知活動</li> </ul> <p>BCPの策定講座等を受講した事業者からの生の意見(アンケート等)を踏まえて、配信内容を検討し、映像媒体を、参加事業者等に提供。</p> <p>■経営者向け啓発用動画 ■BCM活動実践ポイント説明用動画 ■BCP・BCM社内周知用動画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共助体制の構築</li> </ul> <p>BCP策定講座を受講した多種多様な業種の事業者に、共助体制の概要等を説明し、必要性の有無等の意見等を聴聞し、次年度以降の、研究会での、研究する内容の具体化等の道筋をつけた。</p> <p>■研究会 26社・37名(2回(11月, 1月))</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月に標識設置実施計画を公表し、標識第1号を土砂災害の被害が甚大だった熊野第四小学校に設置</li> <li>・ 災害履歴等の「Yahoo!防災速報」で公開</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通機関、教育機関、警察署、郵便局等へのポスター掲示や、広島市等の防災リーダー研修で自主防災組織代表者向け防災教室を実施</li> </ul> <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災重点ため池についての令和2年度に作成した浸水想定区域図を追加公開した。</li> </ul>	<p>○ 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCPの策定</li> </ul> <p>県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制の整備を訴える「BCP策定・BCM活動推進フォーラム・セミナー」の開催、BCPを策定するための「BCP策定講座」の開催及び、BCPの効果検証等を試みる「机上演習」を引き続き実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像媒体による周知活動</li> </ul> <p>フォーラム・セミナーへの参加誘導としての映像の配信や、BCM活動の推進としての社内教育・研修用教材の提供等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共助体制の構築</li> </ul> <p>BCPの実効性を高める、共助体制の推進を進めていくために、事象シナリオを通じて、提供できる経営資源や提供スキーム等の、具体的な内容について、専門家を交えて、講座等参加事業者と検討する。</p> <p>○ 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標識設置実施計画に基づき、計画的に標識設置を進め、土砂災害警戒区域等の更なる認知度向上を図る。</li> <li>・ 土砂災害警戒区域等の3Dマップ化</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、ポスターの掲示や、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、指定効果を高める取組を継続</li> </ul> <p>○ 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続きデータの整理を行い、マップ上で公表するため池を順次拡大する。</li> </ul>



行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施</li> <li>・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知</li> <li>・ 県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ</li> <li>・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ</li> </ul> </li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「察知する」取組の推進</li> <li>○ 防災情報の信頼性を高める取組</li> <li>○ 個人ごとに最適化した防災情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報を実施した。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大規模イベントが中止となったため未実施</li> <li>・ 県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけを行った。</li> <li>・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録の働きかけを行った。</li> </ul> </li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「察知する」取組の推進</li> <li>○ 防災情報の信頼性を高める取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土砂災害警戒情報の判定基準見直し（5月26日～）</li> <li>・ 土砂災害危険度情報の全面改訂、配色変更検討</li> <li>・ 土砂災害警戒情報の発表区分の細分化検討</li> </ul> </li> <li>○ 個人ごとに最適化した防災情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土砂災害危険度情報のスマートフォン対応</li> <li>・ オープンデータ化による民間防災情報コンテンツとの連携</li> <li>・ アクセス集中対策として土砂災害危険度情報のクラウド化の検討</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 継続して取り組む</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施</li> <li>・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知</li> <li>・ 「一斉防災教室」の実施</li> </ul> </li> <li>・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施した。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大規模イベントが中止となったため未実施</li> <li>・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施（5/11～6/6） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 参加者約60万9千人</li> </ul> </li> <li>・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ〔再掲〕</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「行動する」取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「行動する」取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む</li> </ul>
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施</li> <li>・ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知</li> <li>・ 県内の大規模イベント等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室の実施</li> <li>・ 県内の大規模イベント等における職員による防災教室の実施</li> </ul> </li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「学ぶ」取組の推進</li> <li>○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施</li> <li>○ 県防災Webに過去の災害記録を掲載（地域の砂防情報アーカイブ、広島県の砂防資料館等）</li> <li>○ 県内の小中学校に職員を派遣し、「砂防出前講座」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施（5/11～6/6） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 参加者約60万9千人</li> </ul> </li> <li>・ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知を行った。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大規模イベントが中止となったため未実施</li> </ul> </li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した防災・減災教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ひろしまマイ・タイムライン」を制作し、全小中学校に配布（7月上旬）</li> <li>・ 自主防災組織等へ配布し、地域の防災教室等で活用</li> <li>・ Web上にデジタル版のマイ・タイムライン作成サイトを構築</li> </ul> </li> <li>○ 広島大学防災・減災研究センターの監修により、VR教材を制作</li> <li>○ 県防災Webに過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害写真・動画171点を新たに登録</li> <li>・ 過去の災害記録を「Yahoo!防災速報」で公開（「Yahoo!防災速報」での公開は全国初）</li> </ul> </li> <li>○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内38校の小中学校で砂防出前講座を実施</li> <li>・ 効果的な防災教育を推進するため、新たにオンライン講義や、VRやマイ・タイムラインを活用した出前講座を実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成率の向上に向けて、継続して取り組むとともに、新たに次の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希望する小中学校での出前講座の実施</li> <li>・ 低学年向けの教材の配布</li> </ul> </li> <li>○ 出前講座や防災教室等でのVR教材の活用やYoutube配信等による防災意識の機運醸成</li> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 継続して取り組む</li> </ul>

行動目標	取組内容	令和2年度の取組の実施状況	令和3年度の取組等
備える	<p>○ 普段から災害に備えるための行動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知</li> <li>・ みんなで減災」備えるフェアの開催</li> </ul> <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進</p>	<p>○ 普段から災害に備えるための行動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知した</li> <li>・ 「みんなで減災」備えるフェアの開催 → ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知</li> </ul> <p>【8/29～9/13 開催】 参加企業 48 社 2,394 店舗</p> <p>【3/6～3/21 開催】 参加企業 48 社 2,412 店舗</p> <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進</p>	<p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 継続して取り組む</p>